

授業科目	保育内容の理解と方法Ⅳ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21627J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP3-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	上村 眞生							
授業概要	保育実践で必要となる身体表現・音楽表現・造形表現・言語表現を総合的に発揮するための知識・技術を教授すると共に、実際に演習形式で体験する。本授業では、特に身体的表現を手掛かりに総合的な保育技術の向上を目指す。							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得し、実践できる。</li> <li>・遊びの展開に必要な環境構成ができる。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	0	20	30	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)				20			20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)					30		30	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	50						50	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>幼児の身体表現に関する発達の知識、技術・手法をについて、根拠のある説明ができる</p> <p>複数の身体表現について、実践でき、新たに獲得しようとする姿がみられる</p> <p>身体的表現を伴う保育実践の展開について、保育計画を複数立案している</p> <p>幼児の表現を引き出すための環境構成・保育の展開について、その根拠が説明でき、保育計画を基に環境を通した保育の展開ができる</p>				<p>・子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得し、実践できる。</p> <p>・遊びの展開に必要な環境構成ができる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の進行方法・評価について説明する	講義	半期間で出す課題について整理しておくこと	30
2	表現技術について 1 乳幼児の表現とそれを引き出す保育者の表現技術の関係性について解説する	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	90
3	表現技術について 2 保育者の表現技術の内容、手法について説明する	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
4	身体表現の技術 1 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【操作系・投動作】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
5	身体表現の技術 2 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【操作系・蹴動作】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
6	身体表現の技術 3 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【移動系・マット運動】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
7	身体表現の技術 4 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【移動系・器械体操】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
8	身体表現の技術 5 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【平衡系・協応動作】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
9	身体表現の技術 6 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【平衡系:体支持】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
10	保育の表現技術の実際 1 子どもの表現を引き出すために必要な保育の展開についてロールプレイを通して体得する【Aグループ】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
11	保育の表現技術の実際 2 子どもの表現を引き出すために必要な保育の展開についてロールプレイを通して体得する【Bグループ】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
12	保育の表現技術 1 模擬保育を通して、子どもの表現活動の展開について経験し、実践的技術を身につける【Aグループ】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
13	保育の表現技術 2 模擬保育を通して、子どもの表現活動の展開について経験し、実践的技術を身につける【Bグループ】	講義 演習	復:授業中に出す課題について次回までに提出のこと	60
14	保育の表現技術 3 模擬保育を通して、子どもの表現活動の展開について経験し、実践的技術を身につける【振り返り】	講義 演習	復:半期間のまとめとして課す課題について提出のこと	60
15	まとめ 半期間のまとめ	講義	半期間の振り返り	60
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	幼児の運動発達について、事前に学習しておくこと			
テキスト	特になし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜指示する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日常的な運動をしていない学生は、運動習慣をつけておくこと 授業で扱える表現技術には限りがあるので、可能な限り自分で表現の幅を広げるために、本を読んだり、実際に活動してみたりすること			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	演習項目ごとに技術獲得の評価を行う(50点)。 授業の最初に配布する半期間の自己評価票にて評価を行う(30点)。 授業中の発現頻度、質問内容、模擬保育の展開について評価を行う(20点)。			

